

まちづくり瓦版

～うつくしま、まちづくり推進レポート～

Vol.61 平成30年7月13日発行

薄磯防災緑地、沼ノ内防災緑地(いわき市)が完成

～福島県いわき建設事務所～

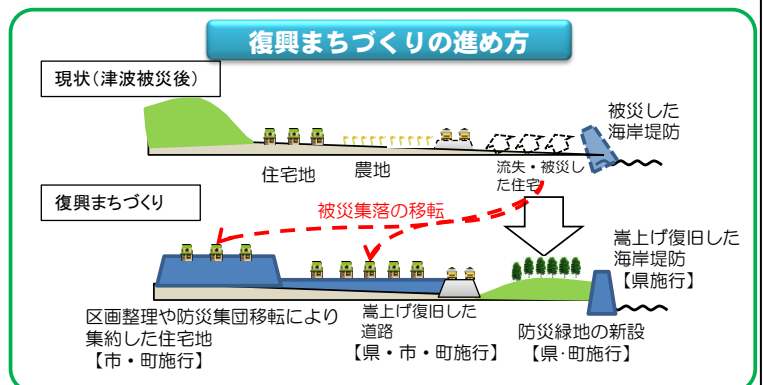
県では、平成23年3月の東日本大震災による津波被害を受け、従来の海岸堤防のみによる津波対策から、海岸堤防の嵩上げ、防災緑地、道路など複数の手法を組み合わせた「多重防御」による総合的な防災力の高いまちづくりを目指し、浜通り地方の沿岸部10地区で防災緑地の整備を進めております。



平成30年3月に薄磯防災緑地(いわき市)、沼ノ内防災緑地(いわき市)が完成し、平成28年12月に完成したひろの防災緑地(広野町)と合わせて3地区が完成となりました。

○防災緑地

津波による浸水被害の軽減や避難時間の確保などの防災機能強化、津波により失われた海岸景観の再生のほか、平常時には自然とのふれあいの場としての利活用が期待されています。



福島駅前通りリニューアル工事が完成

～福島県県北建設事務所～

福島駅前通り（県道福島停車場線）は、福島駅東口から国道13号に至る駅前地区の中心的道路です。しかし、歩道の傾斜やアーケードの老朽化、それらに加え店舗撤退等や利用者の減少といった課題を抱えていました。そのため、県、福島市、地元が連携し、快適・安全でゆとりある、人にやさしい歩行環境の形成、沿道店舗等と道路空間が一体となって賑わいを創出することを目指し、道路空間の再整備を行いました。



○福島駅前通り

「福島の顔」と位置付け、かつての市街地には煉瓦（レンガ）を用いた魅力あふれる建築物が存在していたことから、その古き良き時代のレトロモダンの香りをレンガ基調のシンボルストリートとして再現し、魅力の創出を図っております。

「歩行者優先の“笑顔と賑わい”を育むシンボルストリートへ」を基本コンセプトに、福島駅前通り商店街振興組合、福島市、沿道の住民の方々と連携して事業を進め、平成30年3月末に完成となりました。



完成記念式典は、福島駅前通りで開催する「Fukushimaハルフェスinえきまえ2018」のオープニングセレモニーに合わせて4月8日に行われました。

TOPICS

○鮫川河川敷公園管理運営協議会(いわき市)が 第29回「みどりの愛護」功労者国土交通大臣表彰を授賞しました

○「みどりの愛護」功労者国土交通大臣表彰

「みどりの日」の制定の趣旨を踏まえ、国際花と緑の博覧会開催の理念を将来へ継承し、緑を守り育てる国民運動をさらに積極的に推進していくため、花と緑の愛護に顕著な功績のあった民間の団体に対し、その功績をたたえ、国民運動としての緑化推進活動の模範として国土交通大臣から表彰されるもので、平成30年5月26日に滋賀県で開かれた式典で、いわき市の「鮫川河川敷公園管理運営協議会」が表彰を受けました。



○鮫川河川敷公園管理運営協議会の功績



平成11年7月より活動を始め、現在会員数20名で組織され、「河川敷公園は地域住民の共有財産であり、自然環境に配慮しながら生活の憩いの場として最大限に利活用できるように」との考えのもと、18年以上もの長きにわたり活発に活動しています。

平成12年には、いわき市及び県との間で管理協定を締結し、草刈りや植栽など河川環境の美化や公園施設の維持補修などにも積極的に取り組み、住民参加型の管理運

営により、交流・憩いの場としての河川敷公園の利活用に努めており、住民参加型の地域活動の見本となっています。

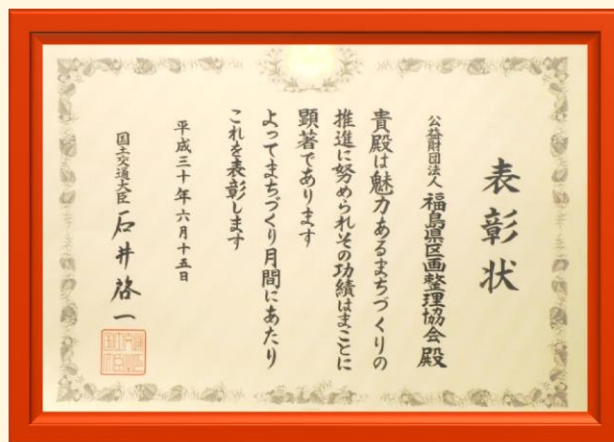
平成23年の東日本大震災以降は、避難された県民と地域との交流を深めるため、パークゴルフ大会を毎年開催し、地域としての団結力を強めるなど、福島県の復興へ向けて尽力しています。

○公益財団法人福島県区画整理協会（郡山市）が第36回まちづくり月間

まちづくり功労者国土交通省大臣表彰を授賞しました

○まちづくり功労者国土交通省大臣表彰

魅力あるまちづくりの推進に努め、特に著しい功績のあった個人又は団体（地方公共団体を含む。）にまちづくり功労者として国土交通大臣から表彰されるもので、平成30年6月15日に、郡山市の「公益財団法人福島県区画整理協会」が表彰を受けました。



○公益財団法人福島県区画整理協会の功績

原子力災害により避難の継続を余儀なくされている避難者に対し、早期に恒久住宅を提供するための復興公営住宅整備にあたり、「用地の選定や取得」、「各種調査設計」、「関係機関協議」、「工事工程」等、工程を極めて限られた工期で効果的に実施する必要がある状況でした。



加えて、「先行取得した用地の形状や面積に合わせた土地利用計画の策定」、

「ほぼ同時期に 20 団地（造成設計を必要とする団地の約7割）の設計実施」という条件のなか、協会一丸となった対応と効率的な業務実施により目標期間内での整備実現に尽力しました。さらに、住民同士や周辺住民とのより良いコミュニティ形成を目的とした潤いのある居住環境整備実現に向けた土地利用計画策定のため、『街区デザインガイドライン』を作成し、その実現に寄与しました。

○まちづくり・住まいづくり出張相談会が開催されました

平成30年5月23日に東北地方整備局主催でまちづくり・住まいづくり出張相談会が郡山市総合福祉センターにて行われました。今回の相談会には約80人の県や市町村のまちづくり担当者が出席しました。

この相談会は、国土交通省東北地方整備局の担当者が各県に出向いて毎年実施しているもので、都市・住宅事業に関する国の予算状況、社会資本整備総合交付金や各種



事業制度の紹介や変更点の説明、まちづくりの先進事例などの説明がなされました。

東北地方整備局の小林都市・住宅整備課長からは「これからは単純に〇〇を整備して活性化を目指すだけではダメ。ハード整備とソフト施策の連携なしに活性化は困難。他部署や民間が実施しているソフト施策を知り、それとハード整備をいかに連携させ、どう実施するのが重要である。」と話がありました。

市町村がまちづくりをする上で欠かせない情報を知る機会ですので、来年以降も関係の方には是非出席をお願いします。

土木部メールマガジン登録随時受付中!!!

土木部メールマガジンでは、土木部の取組みや情報を定期的に発信しています。最新号のメール配信を希望の方は、メルマガ登録をお願いします。

これまでに配信したメールマガジンについては、土木企画課のホームページ（<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/41025a/doboku-mm.html>）からご覧いただけます。

メールマガジン（無料）の配信をご希望される方



【土木部メルマガ希望または、解除】
をお書きのうえ下記アドレスまで
メール送信して下さい。

doboku_mailmagazine@pref.fukushima.lg.jp

土木企画課(システム担当) 024-521-7886

【まちづくり瓦版 発行元】
福島県土木部まちづくり推進課

TEL 024-521-7511

FAX 024-521-7956

e-mail machizukuri@pref.fukushima.lg.jp

URL <http://www.pref.fukushima.jp/machi/>